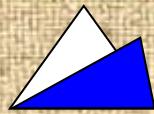


# 会報

日本勤労者山岳連盟(富山県連盟)

新日本スポーツ連盟



## No. 302

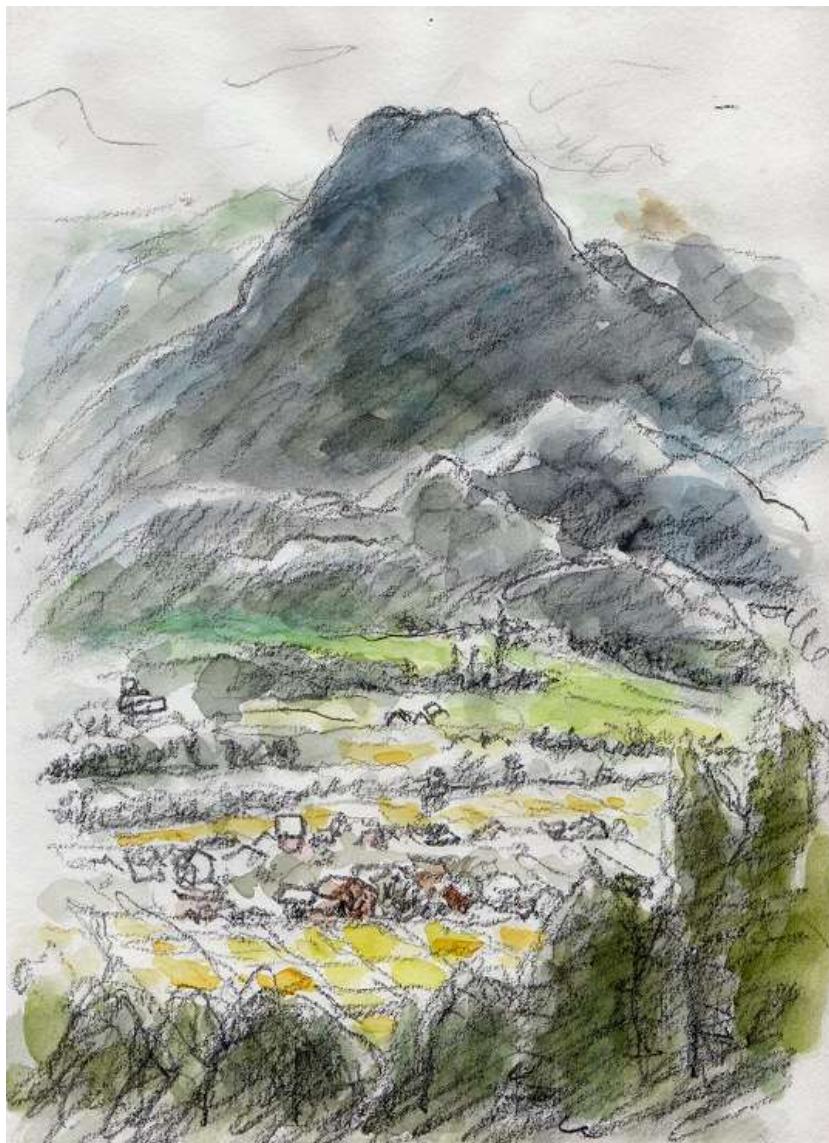
2025年11月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180

# 三島野 スポーツクラ



有明山（信濃富士）

小木  
清画

## 11月・12月企画案内

11／8(土)・9(日) 富士を愛でる山旅  
小富士 & 明神山

11／16(日) 三方岩岳・野谷莊司山

11／29(土) 寺家公園

12／13(土) 百々ヶ峰

山行報告

9／27・28 北信越労山交流登山

能郷白山

10／3 紅葉を愛でる山旅

立山・弥陀ヶ原～天狗平

10／17 紅葉を愛でる山旅

焼岳

雪崩事故を防ぐ講習会 案内

滑落事故の報告について 労山県連

## 11・12月企画案内



11/16(日) 紅葉を愛する山旅企画 その4

## 三方岩岳・野谷荘司山

### 【行程】

薬勝寺池 P 6時00分出発 ⇒ 白川郷 IC ⇒ 白山ホワイトロード ⇒ 登山口 ⇒ 三方岩岳 ⇒ 馬狩荘司山  
⇒ 野谷荘司山 下山は登山路を下る  
標高差 700m 登り2時間30分 下り2時間  
体力度★★☆☆☆ 技術度★☆☆☆☆ L:的場邦夫

【参加申込】 11月6日まで 的場邦夫

SMS 090-4320-5325

※ 積雪、降雪の場合ホワイトロード閉鎖となります。  
その時はコースを変更します

さんぽういわだけ 1736m  
のだにそうじやま 1797m  
岐阜県白川村



## 11/29(土) 寺家公園

「姉倉比賣神社」の正面側の階段を登ると大きな広場に出ます。そこは、桜の木々が植えられ、春は桜を楽しむことも出来ます。広場横には、「紅葉狩はこちら」という看板があります。この看板を目印に小道を進むと何とも言えない絶景に出会えます。

【出発】9時00分 薬勝寺池P

【行程】三十三観音巡り

歩行時間 約2時間30分

【費用】約1000円

【参加申込】11月20日まで 荒井英治へ

SMS 080-8695-6639



## 12/13(土) 百々ヶ峰

百々ヶ峰（どどがみね・417m）は岐阜市の最高峰になり、長良川の北側にあり金華山と対峙します。この山には東海自然歩道も含め、南北に数本の登山コースがあり人気の山です。

【出発】5時00分 薬勝寺池P

東海北陸道 関IC 登山口 (往復コース)

標高差417m 登り1時間45分 下り1時間30分

体力度・技術度とも★★☆☆☆☆

【参加申込】12月3日まで 堀井泰則

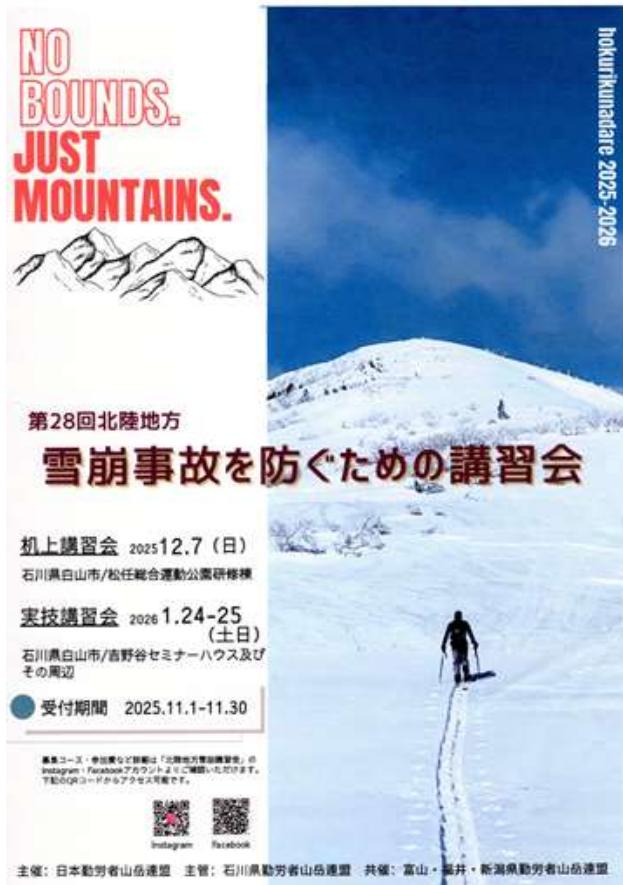
SMS 090-1314-6394



## ● 11/8(土)～9(日) 富士を愛する山旅 小富士 & 富士山を望む明神山

8名の予定人数になりましたので締め切りました。

## ● 11/1(土) 高坪山企画は熊出没のため中止しました。



## 第28回北陸地方 雪崩事故を防ぐための講習会

机上講習会 2025年12月7日(日)

実技講習会 2026年1月24日・25日

主催: 日本勤労者山岳連盟

主管: 石川県勤労者山岳連盟

共催: 富山・福井・新潟県勤労者山岳連盟

※ 参加を希望する人は荒井英治まで

お問い合わせください



## 報告

## 別山乗越付近での滑落死亡事故について



労山県連の仲間（富山勤労者山岳会会員）の死亡事故が発生し、その詳細な報告会が10月8日に行われ、三島野スポーツクラブからも参加しました。その事故の概略を報告し、二度と事故を起こさないための教訓にしたいと思います。

勤労者山岳会（以下「会」）は5人のメンバーで剣沢を経由して仙人池を2泊3日で往復する計画だった。事故は1日目11時頃雷鳥坂を登り、別山乗越（剣御前小舎）で休憩後、剣沢へ下る登山道で4番目を歩いていたKさんが30mほど滑落。脳挫傷で死亡。（報告書より）

Kさんは雷鳥坂の登りで遅れはじめ、足がおぼつかない状態になっていた。休憩で少し回復したものの出発して間もなくバランスを崩して滑落した。（報告書より）

原因は著しい体力の低さが考えられます。コース序盤の雷鳥坂ですでにおくれていることです。コースの難度と個々人の能力や状態を、リーダーは判断することが求められる場面があることがうかがえる一件だといえます。又、ヘルメット未着用だったことも大きな反省点でした。

# 報告

9月27日（土）28日（日）

日本労働者山岳連盟

## 北信越ブロック交流登山

参加者：岩井富雄、荒井英治、塚 良昭、山本則夫

### 【行程記録】

9/27(土)  
12:00 薬勝寺駐車場出発  
14:30 麻那姫湖  
青少年旅行村着  
17:30～20:00 交流会

9/28(日)

7:00 麻那姫湖青少年旅行村出発  
8:00 能郷登山口出発  
9:30 コロンブスピーク  
10:25 能郷白山頂上  
10:30 白山神社奥宮神社  
10:40～11:10 能郷白山頂  
11:40 コロンブスピーク  
13:05 能郷白山登山口  
16:00 薬勝寺駐車場着



### ひとくち感想

**岩 井：**最初から急登で、私には体力的にキツイ登山道でした。ブナ林をすぎたあたりから開けて登山道の笹原を幅2メートル位刈り込んでいたり曇りながらも気持ち良く歩きました。今度の山行で足の衰えを強く感じました。私なりに日常トレーニングをしているつもりですがトレーニングを見直す機会になりました。

**塚 :**麻那姫湖青少年旅行村は芝生が綺麗で、広大なキャンプ場が点在していました。夕方から屋根のある立派な施設で北信越労山の交流会開催。BBQで沢山のお肉に焼きそば、そしてキンキンに冷えたビールサーバーでの生ビールと、各地の名産のお酒を歓談しながら美味しくいただきました。二日目は私達は能郷白山登山です。登山道は下草が刈られ、難所には梯子が11箇所設置され良好に整備されていました。山頂には山座同定の方位盤が設置され360度の展望が開けているはずでしたが、あいにくガスがかかり眺望はありませんでしたが、楽しい二日間を過ごしました。

**山 本**：一日目の交流会はバーベキューで各6人位で火を囲み、野菜・肉（鳥、豚、牛）・イカ等沢山、生ビール・缶酎ハイ、各県自慢の日本酒（吟醸、純米、本醸造）等沢山頂き、会話も弾み楽しく過ごしました。

二日目の能郷白山は登山口より急登でハシゴも13カ所あり、下山時には急坂の上に大ぶりの石がゴロゴロと滑りやすく、下りに苦労しました。頂上からの展望は360度見えるはずだったが？ガスのためさっぱり！そういえばどの情報みても頂上付近の写真にはガスの写真が多かったな～！



**荒 井**：27日のバーベキュー交流会では焼肉と焼きそばでお腹を満たし、クイズゲームなどをしました。私は難聴のため廻りの人たちの会話が聞き取れないことが多く、もどかしいこともありましたが味覚と視覚で楽しんでいました。世話をされた福井県連の人たちの労苦に感謝します。

28日の能郷白山への登山は、富山ハイキングクラブの伊藤さんと三島野スポーツクラブ4人の5人のグループで登りました。伊藤さんは地元大野市の出身で能郷白山は過去に何度も登っておられたので先頭を歩いてもらいました。30年前に自転車で大野市郊外をサイクリングしたことがあって、その時見た荒島岳の姿に感動したことが懐かしく思い出されました。そんなこともあって、大野市は私の好きな場所で、伊藤さんに色々と聞きたいものもあったのですが登山中は先頭と最後尾で離れて歩いていたのでそれができなかつたのが心残りでした。



能郷白山山頂の方位版



## [表紙の絵 有明山] ありあけやま 長野県安曇野市 2268m

有明山は長野県にそびえる山で、日本二百名山に選ばれています。北アルプスの中でも、東に連なる常念山脈の前衛に位置し、麓の安曇野（あづみの）からよく望むことができます。

標高は2268mで森林限界を越えません。花崗岩の山ですが、山全体は木々に覆われ黒っぽく見えます。コメツガやシラビソなどの常緑樹が多く、冬は特に、背後の白い峰々と異にするため存在感があります。富士山を思わせる台形の山姿は「信濃富士」「安曇富士」「有明富士」などとも呼ばれ、地元から親しまれています。古くより信仰登山も行われてきました。

# 山行報告

紅葉を愛でる山旅 その1

10月3日(金)

# 弥陀ヶ原～天狗平

メンバー：〈L〉岩井富雄、的場邦夫、加藤日出子、今村和子、甲かほる、有澤真知子、松田理恵子

## 【行程記録】

薬勝寺発	5:40
立山ケーブル乗車	7:50
弥陀ヶ原出発	9:05
獅子ヶ鼻岩	10:30
天狗平山荘着	13:15
天狗平バス乗車	13:45
立山駅着	14:50
薬勝寺着	15:30



天狗平山荘前で

石 黒：弥陀ヶ原の木道から一の谷へ降り、獅子ヶ鼻の鎖場を登り、天狗平の木道を歩くというコース、素晴らしいかったです。チングルマの紅葉やミネカエデの黄葉、ダケカンバやスゲ類の茶、ハイマツの緑の中を歩く・・そして周りの山々を見渡すと、パッチワークのよう・・ため息が出るほど美しく幸せいっぱいの紅葉狩りでした。今回、獅子ヶ鼻に登るのが楽しみでした。鎖禅定道を登ると巨岩の絶壁に洞窟があり、中には弘法大師と不動明王像が祭っていました。立山信仰の修験者達がいた場所に辿り着け、うれしかったです。ところが、役行者（修験道の祖）の像が祭られている場所を見逃してしまいました。獅子ヶ鼻の下の左側の窟の中だったらしいです。皆さんと一緒に元気な山歩きでき、感謝です。リーダー、運転してくださった方、ご一緒した皆様、ありがとうございました。

甲：弥陀ヶ原湿原の紅葉の中を歩いてきました。全ての場所で紅葉が始まった感じでかわいかったです。初めて、獅子ヶ鼻岩にも登り、スリルも味わうことができ大満足です。後半、私のスピードに合わせてもらって最後まで頑張りました。ありがとうございました。

今 村：バスを降りた途端、赤や黄色が目にとびこんでくる。シラビソやミネカエデの葉が真っ黄色。ナナカマドの葉はもえるような赤色。弥陀ヶ原の木々や草花は、すっかり秋化粧。そんな中を、スマホのカメラぱちぱちさせながらの散策は、最高に気持ちよかったです。こんな素敵な立山の紅葉に出会え、とてもラッキーでした。リーダーさん、運転手さん、ありがとうございました。



どことなくゴリラの横顔に似た「獅子ヶ鼻岩」→

有 沢：“み～だがはら～♪”と深く考えず参加。歩きやすい木道と石黒さんの解説もあり、遠くの山々と目の前に広がる湿原の紅葉のコントラストに「きれい！」の連発でした。行程にあった「獅子が鼻岩」を分かっておらず突然の岩登りにびっくり！へっぴり！それでも皆さんの叱咤激励で何とか上まで登れました。岩の先まで行く勇気はなかったのですが、登れたことだけでもうれしかったです。初めての弥陀ヶ原の紅葉、最高でした！楽しく歩くことができありがとうございました。



加 藤：弥陀ヶ原の木道を歩き始め、大日岳や大辻山を望め、紅葉とのコラボが素晴らしかった。獅子が鼻へは急騰と岩壁に気を引き締めて、皆で登り切れたのが良かった。チングルマの綿毛が沢山咲いていて、開花時季にチングルマの群落を見たいと思った。紅葉を愛する山旅に感謝します。  
(人"▽` )ありがとうございました。

的 場：朝 5 時半に薬勝寺を出て立山駅について弥陀ヶ原の登山口を出発したのが予定通り 9:00 でした。平日でこんな具合です。これが土日祝日だと、どうなるか想像したらゾッとする。雨に会わず、展望もあり、木道も乾いて歩き易く紅葉も今が見頃でした。ぜいたくを言えば青空がもう少しあれば最高！！心配した獅子ヶ鼻岩の難所も登りなので三点支持で時間をかけてゆっくり安全に行けた。出会う登山者も少なかったので三島野のペースで行けた。これが下りだともっと神経を使う。切符も立山通の石黒さんのアドバイスで安く早く買えた。良き参加メンバーに有難う！！

松田理：集合時間を間違えて真っ暗な薬勝寺池 P でしたが、冬の星座がきれいで久しぶりで得した気分の出発でした。これまた久しぶりの秋の弥陀ヶ原は木々も草も赤や黄色に美しく迎えてくれました。かつて登った時より道が荒れているようにも感じましたが、皆さんの適切なアドバイスのおかげでスリルを味わいながらも無事に歩きとおせました。立山はいつの季節にも訪れたいですね。

岩 井：今度の山行の計画は的場さんに作成してもらい、ケーブルとバスの切符の購入の方法は石黒さんに世話になり有難うございました。当日はうす曇りながらも見晴らしが素晴らしく、紅葉は始まったばかりで、木々の葉っぱ一枚一枚が生き生きしていると感じました。久しぶりに見事な紅葉を見られて感動しました。



# 山行報告

10／17（金）

# 焼岳

高山市

2455.4m

メンバー：〈L〉塚 良昭、〈S L〉加藤日出子、新田俊明、今村和子

## 【行程記録】

スタート 7:35→  
新中の湯登山口 7:37→  
新中の湯駐車場 7:40→  
焼岳（北峰）10:25～11:35→  
新中の湯登山口 13:50  
ゴール地点 13:55



## ひとくち感想

**塚 良昭：**平日なのに路肩は車で一杯、何とか駐車出来ました。登りの間はガスで見通しが効かず、眺望を心配していましたが、山頂近くでは雲の上に出て一気に青空が広がりました。頂上は360°の展望が開け、槍穂高・双六・水晶・鶴羽に南アルプス、乗鞍岳が美しく見飽きることがありませんでした。

**今 村：**登山口から、ずっと霧の中を歩く。岩場にさしかかるころパっと霧が晴れ、目の前に煙をはいている焼岳がドーンと聳え立っている。山頂に着くと、槍ヶ岳、穂高連峰、乗鞍岳、笠ヶ岳など360度のパノラマビューが広がる。山々を見ながらのおにぎりは、最高に美味しい。青空！紅葉！焼岳！素晴らしい景色に出会えとても楽しい山歩きでした。

**新 田：**当日は天候にも恵まれ気持ちの良い山行となりました。平日にもかかわらず多くの登山者や軽装の外国人には驚きました。山頂は快晴で眼下には梓川や上高地が広がり360度の展望は圧巻でした。

**加 藤：**前日はドシャ降り☔で当日の天気予報は、情報では快晴☀でも信じられず。車を走らせ登山口へ向かった。駐車場は既に満車だったが、路駐で停めた。登り始めは曇り空で程良く時折風が気持ち良かった。紅葉も綺麗、霧で霞んでたが、景色、花々に癒されて頂上の目前まで来た。上から降りてくる登山者達は、「山頂の景色は素晴らしい!!」と、すれ違いに言った。頂上に着き360度の眺望と青空が最高だった。山頂には予定より1時間程早く辿り着いたので、のんびりくつろぎ楽しめたのが良かった。仲間の皆さんありがとうございました。



## 〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏名	住所	TEL	携帯
代表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、岩井富雄、的場邦夫、堀井泰則、塚 良昭、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、石黒洋子、加藤日出子、島倉津也子、守田清子の13名で構成します。

〔監事〕今村和子、浦 幸江 〔相談役〕山田 格、林 憲彦

**11月の世話人会開催 11月 11日（火）と 11月 25（火）午後2時から。会場は「はなみずき」です。**

尚、どなたでも自由に参加することができます。お気軽に足を運んでください。

※11月 25 日は会報の発行の作業も行います。

会報編集担当 会報に記載する原稿は下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則 [horii.yasunori@rouge.plala.or.jp](mailto:horii.yasunori@rouge.plala.or.jp) 甲かほる [kab@p2.tcnet.ne.jp](mailto:kab@p2.tcnet.ne.jp)

松田理恵子 [krbara@p2.tcnet.ne.jp](mailto:krbara@p2.tcnet.ne.jp)

会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るためには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。



ホームページへのアクセスは [http://sportstoyama.namaste.jp/99\\_blank.html](http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html) を入力して検索してください。また、スマホの場合は右のQRコードを利用して下さい。

全ページをカラー写真で見ることができます。

## 編集後記



- ・山行報告の“ひとくち感想”は参加しなかったものにも疑似体験をさせてくれるみたいに感じことがある。能郷白山は私の未踏峰の山。登りたい山の一つとして心にありました。福井県側から比較的短時間で登れると安直に思っていたのですが、『なかなか手強い』とある。今となっては「こころの山」として残りそうです。“紅葉を愛でる山旅”シリーズの「弥陀ヶ原～天狗平」は紅葉がバッヂリ。そして、奇岩にも攀じ登り、むかしの役の行者の修業跡もあって、“立山再発見”的な様子。私は初夏に歩いた経験があつて季節を変えた景色を想像しながら読みました。紅葉の焼岳は最高ですね。深田久弥が焼岳のことをここから連なる穂高連峰や槍ヶ岳などの北アルプスの“山岳大伽藍”的衛兵のような存在と表現したことが実感として伝わってくる景観、しかも、秋色の彩を添えて・・・。
- ・熊が人を襲う事件が後を絶たない。中には家の中にまでは入ってくる熊も。人を餌食とみる熊も現れるとか。山に行く対策は？「一人で行かない」「ヘルメットなどの防具」「携帯ラジオ」など考えられる。当クラブの高坪山企画は世話人会で検討し中止しました。あの山域は熊の領域ですから。数年前近くの林道を車で通った時、子連れの熊とすれ違ったことがあります。

(会報編集責任者 堀井泰則)